

第5回 帯広市産業振興会議次第

日時：平成21年9月24日（木）10:00～

会場：帯広市役所 10階 第5A会議室

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 小委員会の具体テーマ・メンバー等について（関係資料：資料1・資料2・資料3）

(2) 特に確認すべき事業等について（関係資料：資料4）

資料4の工程表を参考に、気になる事業の洗い出し（詳細の確認は、次回で）

(3) その他

① 第六期総合計画（原案）について～パブリックコメント実施中～

市のホームページに掲載中、期間は9.14（月）～10.13（火）までの1ヶ月

募集要領及び原案全文を資料5として配付しますので参考に願います

② 次回の振興会議について

○ビジョン事業の進捗状況について～気になる事業や動きのある事業を中心に～

○小委員会の取組み状況について

・日時：10月21日（水）17:30～19:30（その後、懇親会を予定）

・会場：未定（別途お知らせ）

② その他

4 閉会

「地域経済リサーチ小委員会」の具体テーマの設定、メンバー選考等検討に係る論点について(参考)

資料 1

1 具体テーマについて

(1) おさらいとして、基本事項の確認(前回第4回振興会議に提出した「資料1」より抜粋)

設置に向けた考え方	平成19年度から平成20年度にかけて帯広市中小企業振興協議会で議論されたのは、 <u>産業政策の立案と検証には地域の統計的データの分析が不可欠</u> であること。帯広市産業振興ビジョンの <u>点検や修正</u> はもとより、 <u>5年後の全面改定作業</u> のためには、 <u>地域経済の実態を把握するための継続的な調査研究が必要</u> である。
テーマの考え方	調査・分析の方向性について、現時点では、 <u>具体テーマを絞り込められない</u> ことから、振興会議において協議検討を行い、 <u>具体テーマやメンバー選定を進める</u> 。
ビジョンの位置づけ	中小企業の経営基盤の強化 基本施策 7 地域経済の調査研究 展開事業番号 13 地域経済の調査・分析 調査分析の効果的实施、有効活用等
ビジョンの記載内容	展開事業(13) ■地域経済の調査分析 ● <u>地域内経済循環の現状を把握し、施策の効果測定するためには、継続的に地域経済の調査分析を行う必要がある</u> ことから、行政、経済団体、大学、試験研究機関、金融機関等の連携のもと、 <u>調査分析の効果的实施や有効活用を進めます</u> 。 ● <u>地域の中小企業者等の実態調査について、実態分析や施策の効果測定などに活かすよう実施時期や調査内容の研究を進めます</u> 。
設置の必要性	地域経済の現状把握は産業振興ビジョンはもとより、 <u>産業政策立案や施策の点検のためには必要不可欠な</u> ものであり、関係する部署機関が多岐にわたるほか、 <u>継続的な把握をする体制構築が早期に必要</u> であると判断したもの。

(2) 参考論点

上記のとおり、趣旨が幅広く深いことから、絞り込むことより、委員から率直なご意見をいただくべき
⇒「小委員会で取り上げて欲しい項目について」

2 メンバー選考について

(1) 基本事項の確認(前回第4回振興会議に提出した「資料1」より抜粋)

構成メンバー	帯広畜産大学、帯広信用金庫、十勝支庁、振興会議、市役所など
--------	-------------------------------

(2) ジャンルの洗い出し

(3) ジャンルに基づく候補メンバーの洗い出し

- ① 振興会議委員からの候補者(自薦・他薦)
- ② 外部からの候補者

「十勝のストーリーづくり検討小委員会」の具体テーマの設定、メンバー選考等検討に係る論点について(参考)

資料2

1 具体テーマについて

(1) おさらいとして、基本事項の確認(前回第4回振興会議に提出した「資料1」より抜粋)

設置に向けた考え方	帯広市は経済産業省特許庁の「 <u>知財先進都市支援事業</u> 」に申請し採択されたため、北海道経済産業局の事業により支援を受けることとなった。小委員会としては、十勝のストーリーづくり検討に向けた効果的な取組みとして、 <u>この事業を活用し、同事業がスタートする11月ごろに立ち上げを予定する。</u>
テーマの考え方	「知財先進都市支援事業」の活用に合わせて、 <u>設置期間をH22年度までの2カ年間。専門家やプランナーを招聘し、ブランド化構築に向けた手法の検討、アンケートの実施、先進事例の調査を通し、帯広市の農畜産物及び加工品のブランド化マニュアルを策定する。</u>
ビジョンの位置づけ	ものづくり産業の振興 基本施策 14 地域ブランドの形成 展開事業番号 27 市場開拓・販路拡大 十勝のストーリーづくり検討会の設置
ビジョンの記載内容	展開事業(27) ■市場開拓・販路拡大 ●「十勝(とちかち)」のイメージを更にアピールするため、 <u>ものづくりや商品に付随するストーリーを創出する取組みを進め、十勝を総合的にプロデュースする活動を検討し、売れる商品戦略の取組みを進めます。</u>
設置の必要性	十勝においては、JA帯広市川西、JA帯広大正の両農協が地域団体商標登録制度、十勝ブランド認証機構が品質・衛生面の自主基準を定めた認証制度を活用し、技術的な側面からの「ブランド化」に向けた取組みを進めている。生産、加工においては「一流」の商品に、 <u>イメージ戦略を加えることにより、市場開拓、販路拡大につなげるよう取り組む。</u>

(2) 参考論点

「知財先進都市支援事業」を活用した具体テーマの設定

- ・ 支援事業内容の確認(別紙:「資料3」参照)
- ・ 支援事業に盛り込みたい具体的な項目(支援事業内容の確認に係る質疑を通して)

2 メンバー選考について

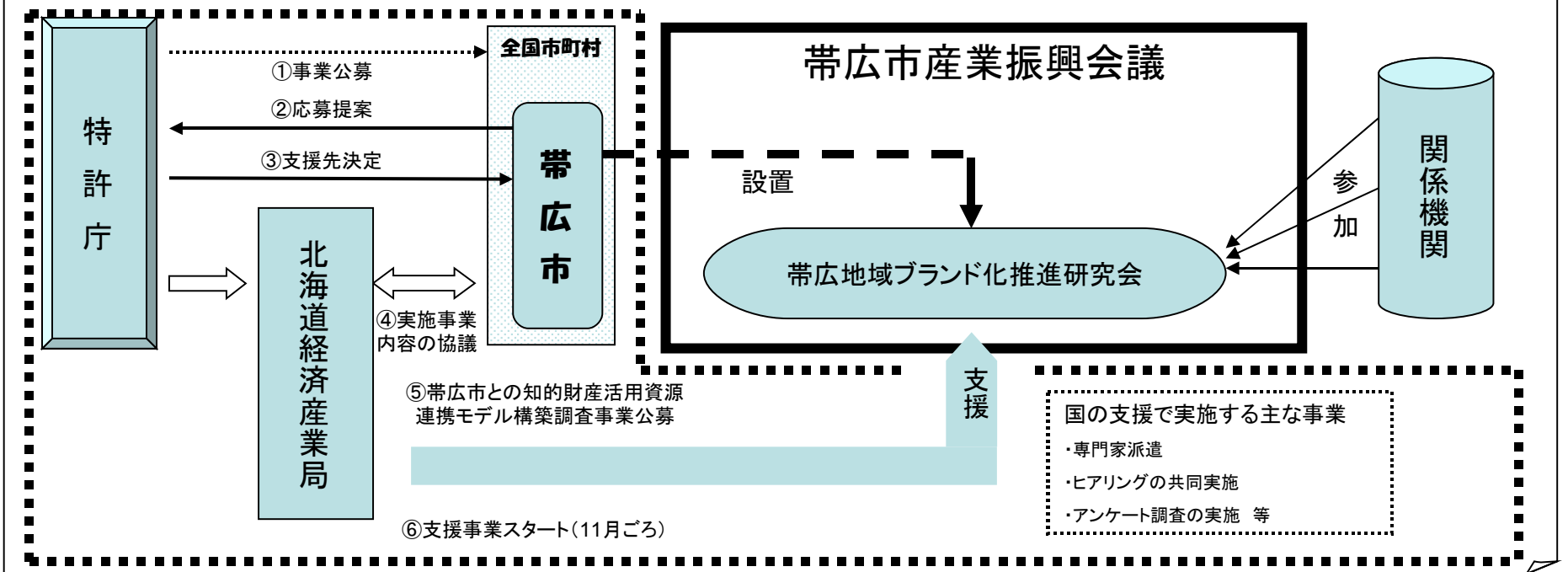
(1) 基本事項の確認(前回第4回振興会議に提出した「資料1」より抜粋)

構成メンバー	物産協会、商工会議所、とちかち帯広デザイン振興協議会、とちかち財団、振興会議、市役所など
--------	--

(2) ジャンルの洗い出し

(3) ジャンルに基づく候補メンバーの洗い出し

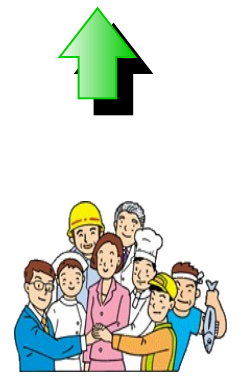
- ① 振興会議委員からの候補者(自薦・他薦)
- ② 外部からの候補者



ブランド化過程のショーケース化を目指します！

研究会の設置(事業推進組織)

- ・モデル商品の検討、選定(2~3品目)
- ・ブランド化事例の調査、研究(市場調査)
- ・モデル商品に関する研究会(消費者、バイヤー等)
- ・商品ストーリー・パッケージデザイン作成等
- ・主要消費地(東京、大阪等)での実験販売
- ・小ロットによる物流と販売体制のFS
- ・ブランド化行動計画の立案
- ・他商品への応用
- ・「十勝ブランド化戦略本部」による継続的取り組み など



課題

- ①商標品目は素材が中心。消費者への直接的な訴求力が弱い
- ②個々の商品を束ねた地域全体のブランド化戦略が弱い
- ③他の先進事例(夕張メロン等)に比較してブランド化が不十分
- ④このため販路拡大(=ブランド化)に直結していない

今後必要な取り組みの基本方向

- ①商標・独自認証を活かした地域ブランド戦略の構築が必要
- ②ブランド化への取り組みのパッケージ化
→商標登録～販売拡大間では多面的なアプローチが必要
- ③ブランド化過程のショーケース化
→地域関係者へのブランド化の理解促進と他商品への応用が必要

1. 活力ある産業の振興と産業間連携の推進

産業振興ビジョンに基づく各種事業の推進

- (1) 中小企業の経営基盤強化
- ・ 帯広市中小企業振興融資制度の充実 事業費 6,864,000千円
セーフティネット資金や新規開業支援資金等の充実により中小企業者や創業者の資金調達を支援
 - ・ 信用保証料補給事業 事業費 105,605千円
中小企業者の資金調達の円滑化に資するため、信用保証料の一部を補助するもの
 - ・ おびひろ・とかち創業・起業支援フェアの開催 事業費 221千円
 - ・ 商店街活性化、商店街団体支援 事業費 8,000千円
- (2) 産業人・担い手の育成
- ・ 中小企業研修連携会議 事業費 500千円
研修事業の効率的実施に向けた各種支援機関との連携
 - ・ (仮称)帯広市職業能力開発センター整備事業(債務負担行為の変更)
建設工事等に対する支援 平成22年4月オープン予定 延べ床面積 1,559.17㎡
- (3) ものづくり産業の振興
- ・ (仮称)帯広リサーチ&ビジネスパーク構想推進費 事業費 3,000千円
(仮称)帯広リサーチ&ビジネスパーク構想推進協議会の設置
(仮称)研究成果活用連絡会議の開催等
 - ・ 帯広市ものづくり総合支援補助金 事業費6,000千円
新製品開発から技術相談、販路開拓までの総合的な支援
 - ・ ものづくり技術力強化 事業費 300千円
地域のものづくり技術強化の向上をはかるため、勉強会や講習会実施の支援
- (4) 産業基盤の強化
- ・ 企業誘致推進組織「帯広・十勝地域産業活性化協議会」への支援 事業費 600千円
 - ・ 帯広市企業立地促進条例の改正
地域特性を活かした企業の更なる立地促進に向けた支援策の拡充
- (5) 集客交流産業の振興
- ・ 恋人の聖地イメチェン
幸福駅利活用計画策定業務(新規) 事業費 2,000千円
幸福駅周辺の利活用と将来像について、民間活力の導入に向けた利活用計画を策定
 - ・ 幸福駅セレモニー広場整備(新規) 事業費 500千円
 - ・ 恋人の聖地愛国駅イベント(新規) 事業費 300千円
 - ・ とかち「ビジットシナリオ」
国内線・国際チャーター便の利用促進事業 事業費 3,200千円
 - ・ (仮称)帯広市産業振興会議の設置による産業振興ビジョンの進行管理 事業費 390千円
帯広市産業振興ビジョンの効果的な推進を図る



商工観光部

(H21年度当初予算)
地域資源を活かした
活力あるまちづくり

2. 活気あふれる商業地の形成

中心市街地活性化の推進

- (1) 市街地再開発事業【開広団地再整備事業】(新規) 事業費 48,276千円
流通系団地の居住系中心への土地利用転換と高齢者住宅、クリニックモール、商業施設などの機能を併設した施設の整備を推進
- (2) 中心市街地活性化基本計画の推進 事業費 3,000千円
中心市街地活性化の推進組織「中心市街地活性化協議会」の運営支援、基本計画の推進
- (3) まちなか歩行者天国事業支援(拡充) 事業費 2,000千円
まちなか歩行者天国の実施を支援
- (4) 集客交流地域活性化推進事業(新規) 事業費 5,000千円
交流人口の拡大と中心市街地活性化対策として、道東地区を中心とした道内からの集客事業に対する補助を行う。(ホコテン、ばんえい競馬など)



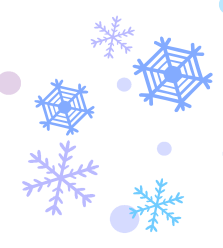
商店街の活性化

- (1) 地域いたわり商店街事業 事業費 800千円 (再掲)
地域に密着した商店街の取組みを支援
- (2) 商店街演出・催事事業 事業費 7,200千円 (再掲)
商店街のイベントなどにぎわい創出のためのソフト事業の実施を支援



花壇・イルミネーション関連事業

- まちなかの花壇整備やイルミネーション事業の実施を支援することによって、まちなかに賑わいを創出
- (1) とかち花街道フェア事業 事業費 1,300千円
- (2) おびひろイルミネーションプロジェクト事業 事業費 600千円
- (3) 平原のルキア事業 事業費 400千円
- (4) おびひろ夢あかりアートの街事業 事業費 450千円



中央駐車場改修工事 事業費 23,000千円

劣化度調査の結果による施設の改修

4. 地域に根ざした雇用の促進と労働環境の整備

季節労働者等の雇用対策

- ・ 季節労働者等の雇用促進に向けた総合的な対策の推進
- (1) 季節労働者就労対策事業 事業費 64,539千円
私有林除伐・枝打ち業務などの事業で季節労働者を雇用
- (2) 通年雇用促進支援事業 事業費 799千円
- ・ 通年雇用促進に向けた各種セミナー、職業訓練、資格取得支援事業の実施



雇用創出促進事業

- ・ 関係機関と連携した雇用対策の推進
- (1) 地域提案型雇用創出推進事業 事業費 3,955千円
農業や農産物など地域資源を活かし、雇用機会創出、能力開発、情報提供、相談事業などを展開
- (2) (仮称)人材確保・マッチング事業(新規) 事業費 4,045千円
優秀な求職者のデータを登録し、企業が求めている人材を情報提供することにより、雇用のマッチングを図る。
- (3) 高校生職業体験学習等支援事業 事業費 2,500千円
高校生の勤労観や職業観向上を図るため、企業における職場体験等の実施を支援



緊急雇用対策

- (1) 労働者生活相談員の配置 事業費 1,964千円
季節労働者から離職者を含めた総合的な労働相談員を配置
- (2) 直接雇用 事業費 3,120千円
正規就職までのつなぎとして臨時職員20名を採用
- (3) 労働者生活資金貸付事業 事業費 3,000千円
季節労働者生活資金貸付金の制度を改正し、対象者に事業主都合による離職者を加え、積立金の原資を増額
- (4) 合同企業説明会支援事業 事業費 1,000千円
正規就労へのマッチングを強化するため、求職登録や関係団体が実施する企業説明会等への支援の実施

3. 地域の魅力を活かした新しい観光振興

魅力ある観光拠点づくり

恋人の聖地に選定された旧愛国駅・幸福駅を全国に向けて情報発信するほか、幸福駅周辺の利活用と将来像についての計画を策定

- (1) 幸福駅利活用計画策定業務(新規) 事業費 2,000千円(再掲)
- (2) 幸福駅セレモニー広場整備(新規) 事業費 500千円(再掲)
- (3) 恋人の聖地愛国駅イベント(新規) 事業費 300千円(再掲)



ばんえい競馬プロモーション活動

事業費 3,900千円

ばんえい競馬を地域資源として、ばん馬まつりの開催支援や観光プロモーション活動を実施

国際ラリー支援歓迎実行委員会支援

事業費 2,000千円

十勝管内で開催されるラリー北海道(アジアパシフィックラリー選手権)の支援

平原まつり全道阿波おどり大会の開催(新規)

事業費 900千円

徳島市阿波おどり親善訪問団を5年ぶりに招聘し、本場阿波おどりを平原まつりで披露し、道内の阿波おどりを愛好する連とともに全道阿波おどり大会を開催

とかち帯広空港利用促進事業

事業費 2,200千円

航空路線網の充実、空港を活用した利用客増加、海外旅行客受け入れ体制充実に
に向けた取り組みの推進



帯広市 雇用対策及び地域活性化・経済対策等について ~ 商工観光部対応 平成20年度予備費から平成21年度7月補正まで ~

通常予算は除く

H20年度予備費 H21.2~		H21年度当初予算 H21.4~	6月補正 H21.7~ 45,701千円	7月補正 H21.8~ 7月補正計 62,053千円	
雇用対策	雇用対策総合相談窓口（ハローワーク・支庁・経済団体等との連携協力） （雇用対策の入口として、最も基本となる機能 各制度への案内、手続の支援として、当面継続）				
	マッチング強化支援 （正規職員への就労支援強化：企業説明会の開催）				
	臨時職員の採用 （離職者対象：20名、3月以内、週1日就活可能〔有給〕）	4月で終了		臨時職員採用：マッチング強化支援の拡充〔工業労政課〕 ・新マッチング実施に向けた臨職雇用と正規就労支援：3名×4月×2回 3,684千円 臨時職員採用：若年者・ひとり親家庭就労支援事業〔職員課〕 ・若年者就労支援：15名×5月 ・ひとり親家庭就労支援：4名×5月 14,519千円 動物園冬期開園事業〔動物園〕 ・季節労働者対策分：160日分 1,371千円 絵本と歩む子育て応援隊事業〔図書館〕 ・2人 1,472千円	
	離職者生活資金融資 （季節労働者生活資金貸付金の制度拡充：限度額15万円、無利子、8ヶ月以内、要保証人）				
	市営住宅の賃貸 （大空町建替え用政策空き室：月額7,300円～10,600円、入居後6月まで）				
	帯広市	労働者生活相談員の配置 （季節労働者対象から離職者を対象に拡充）			
				ふるさと雇用再生特別対策事業 ばんえい競馬馬厩肥を活用したマッシュルーム栽培〔産業連携室〕 31,890千円（雇用創出15人） 地域デザインを活用した地場産加工品の販路開拓〔工業労政課〕 11,582千円（雇用創出4人）	
				とち昭和の記憶継承事業〔図書館〕 ・14人分 22,889千円 公園・緑地下枝処理業務〔みどりの課〕 ・190人日分 2,979千円 労働者貸付金制度の拡充〔工業労政課〕 （離職者への無利子融資：限度額30万円、2年以内、労働金庫預託） 当初予算対応	
				都市エリア産学官連携促進事業〔工業労政課〕 2,229千円（発展型の採択：地域負担分（帯広市））	
				絵本と歩む子育て応援隊事業〔図書館〕（再掲） 交付金充当事業 2,610千円 とち昭和の記憶継承事業〔図書館〕（再掲） 交付金充当事業 4,640千円 ばんえい十勝まんぶく味覚まつり〔観光課〕 交付金充当事業 4,889千円 レンタサイクル集客交流活性化事業〔観光課〕 交付金充当事業 3,000千円 ・自転車購入：30台×10万円	
経済対策					

「十勝のストーリーづくり」に関する事業（案）について

1. 事業名称

平成21年度 帯広市との知的財産活用支援連携モデル構築事業
(帯広十勝地域のブランド戦略構築に関する調査業務)

2. 事業経緯

経済産業省特許庁では、地域・中小企業における知財の創造・保護・活用に対する支援を強化しており、その一環として、知財を活用した地域経済活性化に向けて意欲的な取組を進める市町村を支援する「知財先進都市支援事業」を実施。北海道管内から帯広市が採択されたもの。

採択理由は、帯広十勝地域が我が国有数の農業・酪農地帯として知名度が高く、北海道初の地域団体商標に登録された「十勝川西長いも」をはじめ地域団体商標登録商品が複数あるほか、十勝ブランド認証機構による独自の認証制度を設けるなど、地域ブランドの構築に熱心な取組を行っていること。また帯広市産業振興ビジョンでも、今後、さらなる地域ブランドの形成に向けた取組を進めることとしていることが評価されたもの。

3. 事業実施方法

経済産業省北海道経済産業局が、本事業の請負事業者を公募（10月頃）し、外部審査委員会を経て事業者を採択する予定。（採択は総合評価方式による入札を行うため、本事業に係る予算は非公開）

帯広市は、採択された事業者と協働で本事業に係る具体的な内容を企画・立案し、事業を執行する。今年度の事業結果は年度内に報告書として取りまとめる。

4. 事業概要

帯広十勝地域では、食関連製品等個々の商品としては一定の知名度を得ているものの、個々ばらばらの取組によりブランド力が分散している。地域全体として強力なブランド化を図るため、地域産品のパッケージ（意匠）や、生産過程のストーリー化等の検討を通じ、地域産品のブランド化を構築する手法「ブランドショーケース」（共通マニュアル：22年度事業）を作成し、他商品にも応用できるような地域共通のブランド化を戦略的に推進するため、今年度は以下の事業を実施する。

①帯広十勝地域ブランド化推進研究会（＝帯広市産業振興会議小委員会）の設置

事業推進母体として、物産業界、経済界、デザイナー、農協、大学、メディア等、帯広十勝地域の産学官から構成する「帯広十勝地域ブランド化推進研究会」（構成員10名程度、5回程度開催）を設置する。なお、研究会メンバーのうち最低1名は帯広市産業振興会議から参画する。

②モデル商品の選定とストーリー作成

研究会では、帯広十勝地域産品の地域共通ブランド化のモデル商品（2～3品目）を選定し、その商品固有の生産過程等をストーリー化するとともに、今後、ブランド化を進める上で必要な取り組みを様々な分野（意匠、広報、生産、流通等）から検討する。

③地域外の専門的知見の導入

本研究会には、地域ブランド戦略に精通する地域外の専門家を研究会に招き（3回程度）専門的な知見を導入する。

④帯広十勝地域産品の地域ブランド力に関する現状調査（ヒアリング）

（1）地域内ヒアリング

地域内で地域団体商標を取得している団体や十勝ブランド認証機構から認証を受けた十勝産加工食品を製造する団体等に対するヒアリングを実施。商標取得の効果や今後の課題等を把握する。

（2）地域外ヒアリング

道内外の百貨店や商社などの販売関係者、マーケティング専門家（4箇所程度）にヒアリングを実施。十勝地域のブランド力に関する現状を把握・分析する。

また、地域ブランド先進地域を視察（3箇所程度）し、事例研究を行う。

⑤市場ニーズ等の把握に向けたアンケート調査

バイヤー、小売店、広告代理店、旅行代理店、観光事業者等（500機関程度）を対象にアンケート調査を実施し、帯広十勝地域産品の市場動向等を分析、把握する。

帯広市産業振興ビジョン具体化に向けた工程表 進捗状況

[平成 21 年 9 月 11 日 現在]

進捗状況総括表	1
・ 中小企業の経営基盤の強化	2
・ 産業人・担い手の育成	3
・ ものづくり産業の振興	4
・ 産業基盤の強化	5
・ 集客・交流産業の振興	6
参考)平成 21 年度 商工観光部予算に係る状況	7 (網かけ項目:着手済)

.....

工程表(ロードマップ)の事業に対応し、 分類 実施組織 担当を記入

「分類」は以下の3種類

「着手済」=すでに事業実施のために予算化し、今年度実施の予定のものが、事業実施に向けた検討作業に着手しているもの。または市が直接主体ではないが事業の実施が決定しているもの。

「未着手」=今年度以降着手予定だが、手法も含め固まっていないもの。もしくは工程表上、次年度以降着手予定となっているもの。

「着手予定」=事業実施のための予算は今年度盛り込んでいないが、事業実施に向けて今年度検討作業に着手予定で、検討手法が定まっているもの。

「実施組織」は「着手予定」と「着手済」の項目について以下の3種類で分類

「部会」=部会で検討予定

「別組織」=部会とは別組織で検討

「庁内検討」=部会を設置せず検討

着手済で市が直接事業実施に移っているものは担当課名を記載

担当課は下記の凡例による

「商」=商業まちづくり課

「産」=産業連携室

「工」=工業労政課

「観」=観光課

「空」=空港事務所

産業ビジョン 工程表に係る進捗状況総括表

		第5回産業振興会議 平成21年9月24日 報告	第2回産業振興会議 平成21年6月3日 報告
中小企業の経営基盤の強化	12事業 16項目	着手済 13 着手予定 3 未着手 0	8 8 0
産業人・担い手の育成	5事業 10項目	着手済 5 着手予定 4 未着手 1	5 4 1
ものづくり産業の振興	10事業 19項目	着手済 8 着手予定 3 未着手 8	8 2 9
産業基盤の強化	9事業 12項目	着手済 4 着手予定 0 未着手 8	4 0 8
集客・交流産業の振興	14事業 25項目	着手済 15 着手予定 3 未着手 7	14 4 7
計	50事業 82項目	着手済 45 着手予定 13 未着手 24 計 82	39 18 25 82

中小企業の経営基盤の強化 工程表(ロードマップ)

番号	展開事業	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H26~30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等 (現状値 H30目標値) 現状値は原則H19	
重点プロジェクト：創業・起業支援プロジェクト												
創業・起業支援												
6	創業・起業応援	教育委員会等との調整	教育キャリア等への組入れ(体験型含む)					着手予定	庁内検討	工	【法人市民税賦課法人数】 5,151社 4,751社 【法人市民税の賦課金額合計】 21億4883万3千円 20億1095万円 【卸・小売業及びサービス業の法人市民税賦課金額】 9億7512万6千円 9億1255万5千円 【商店街の空き店舗率】 10.39% (H20) 現状維持 【ものづくり総合支援補助金採択件数に占める事業化・商品化率】 52.2% (H15~19平均) 68.1%	
		相談体制構築等の検討	情報提供やアドバイスがワンストップで可能となる相談体制の構築・推進					着手済	別組織	商		
		創業・起業支援フェアの開催						着手済	別組織	商		
7	創業・起業実践	情報提供方法やサポート体制の検討	国・道・市の支援策の提供、サポート体制の構築・推進					着手済	別組織	商		
		創業支援のための融資制度の拡充						着手済	庁内検討	商		
重点プロジェクト：中小企業総合支援プロジェクト												
中小企業総合支援												
1	中小企業総合相談機能整備	地域支援機関との連携による総合的支援体制の構築						着手済	別組織	商		
		総合的情報発信の仕組みの検討・推進						着手予定	別組織	商		
9	事業承継・事業再生支援	関係支援機関との連携 相談・応援体制の整備・推進、セミナー開催・専門家派遣						着手済	別組織	商		
3	とちかち応援団のネットワーク化	(再掲)										
基本施策1：経営支援												
1	中小企業総合相談機能整備(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										
2	仮称・産業振興会議の運営	産業振興ビジョンの推進組織の運営、進捗状況の検証					着手済		工			
3	とちかち応援団のネットワーク化(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										
4	同業種・異業種交流の組織化と情報提供	関係機関のサポートによる効果的な交流の促進					着手済	別組織	工			
基本施策2：組織化促進・中小企業団体の育成												
5	組織化促進・中小企業団体の育成	中小企業者の組織化、中小企業団体の育成など中小企業の振興支援					着手済	庁内検討	商			
基本施策3：創業・起業の促進												
6	創業・起業応援(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										
7	創業・起業実践(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										
基本施策4：経営基盤の強化												
8	融資制度の充実	中小企業の資金繰り円滑化、中小企業振興融資制度の充実					着手済	庁内検討	商			
9	事業承継・事業再生支援(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										
基本施策5：商業・商店街の活性化												
10	商業関係団体支援	商業振興のための活動支援					着手済	庁内検討	商			
11	商店街活性化、商店街団体支援	商店街活性化のために行う共同事業等に対し支援する事業(ハード、ソフト、イベント等)					着手済	庁内検討	商			
基本施策6：建設産業の革新												
12	ものづくり相談支援(新事業・新分野進出)	ものづくり総合支援補助金による支援の実施					着手済	庁内検討	工			
基本施策7：地域経済の調査研究												
13	地域経済の調査・分析	調査分析の効果的実施、有効活用等					着手予定	部会	産商			

産業人・担い手の育成 工程表(ロードマップ)

番号	展開事業	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H26～30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等	
重点プロジェクト：人材育成プロジェクト												
地域「人材」育成連携												
15	「人材」育成	中小企業研修連携会議の設置・運営							着手済	別組織	商	(現状値 H30目標値) 現状値は原則H19 【有効求人倍率】 0.51倍 0.80倍
		実践的な経営者向け研修事業の充実							着手予定	別組織	商	
		中小企業者向けカリキュラムの再構築等検討							着手予定	別組織	商	
16	総合的研修	図書館等を利用した研修機会の充実・推進							着手予定	別組織	商	
		中小企業出前講座の実施促進							着手予定	別組織	商	
人材マッチングシステム強化												
18	雇用創出支援	人材マッチングシステム(ジョブジョブとかち)の充実・強化							着手済	別組織	工	
		地域雇用創造推進事業(新パッケージ)の実施	新たな地域雇用創造推進事業の検討・実施						着手済	別組織	工	
基本施策 8：担い手の育成												
14	インターンシップ事業の充実強化	帯広版インターンシップマニュアルの検討	帯広版インターンシップマニュアルの活用						着手済	庁内検討	工	
		十勝型インターンシップの実践							着手済	庁内検討	工	
15	「人材」育成(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										
16	総合的研修(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										
基本施策 9：経営力の強化												
9	事業承継・事業再生支援	(再掲)										
基本施策 10：雇用の確保												
17	シルバー人材センターの機能充実強化と新たな仕組みづくり	高度な知識・技能を持つ高齢者等の人材バンクの設立と、情報提供の仕組み作成							未着手		工	
18	雇用創出支援(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										

ものづくり産業の振興 工程表(ロードマップ)

番号	展開事業	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H26-30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等 (現状値 H30目標値) 現状値は原則H19	
重点プロジェクト：ものづくり創造プロジェクト												
ものづくりファーム												
25	ものづくり技術力強化							着手済 未着手 未着手	庁内検討 未着手 未着手	工 工 工	【技術指導相談件数】 363件 492件	
ものづくり支援カウンター												
26	ものづくり相談・支援							着手済 未着手	庁内検討 未着手	工 工	【ものづくり総合支援補助金採択件数に占める事業化・商品化率】	
フードビジネス支援												
20	アグリ・フード・バイオ関連産業振興							着手済	別組織	産	52.2% (H15~19平均) 68.1%	
知的財産活用(地域イノベーション)												
22	産学官連携							着手済 着手済 着手済	別組織 別組織	工 工	【食料品製造業の付加価値生産性】 930万円(H18) 現状維持 【大学・試験研究機関の共同研究数】	
基本施策11：地域資源活用・農商工等連携の推進												
19	地域産業資源活用促進							着手済 着手済	庁内検討 庁内検討	産 産	36件 43件	
20	アグリフードバイオ関連産業振興	(再掲)										【十勝ブランド認証企業数】
基本施策12：産学官連携の推進												
21	産業支援機能の充実							未着手 未着手	未着手 未着手	工 工	21件(H20) 27件	
22	産学官連携(再掲)	(再掲)										
基本施策13：産業クラスターの形成												
23	地域産業コーディネート							着手予定		工		
24	大規模化へ頑張る工房支援							未着手		工		
25	ものづくり技術力強化(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										
26	ものづくり総合相談・支援(重点プロジェクト再掲)	(再掲)										
基本施策14：地域ブランドの形成												
27	市場開拓・販路拡大							着手予定 着手予定	部会 庁内検討	工観 工		
28	とちブランド育成							未着手 未着手	未着手 未着手	工 工	小委員会(部会)設置対応決定	

産業基盤の強化 工程表 (ロードマップ)

番号	展開事業	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H26~30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等 (現状値 H30目標値) 現状値は原則H19			
重点プロジェクト：ビジネス拡大立地促進プロジェクト														
企業立地・誘致														
33	企業立地支援・誘致推進	企業立地促進法に基づく、立地企業の固定資産税減免制度の整備		企業立地促進法に基づく、立地企業の固定資産税減免制度の実施						着手済	庁内検討	工	【立地企業数】 4社 30社	
		企業立地促進条例の見直し		企業立地促進条例に基づく支援の実施						着手済	庁内検討	工		
		企業立地促進法に基づく支援策の有効活用、支援制度のPR、企業誘致活動の推進						着手済	別組織	工				
34	施設の共同利用化	共同利用施設の必要性調査		コストやスケールメリットの検討							未着手			工
3	とちかち応援団のネットワーク化	とちかち応援団のネットワーク化						未着手			工			
産業集積誘導戦略策定														
31	産業集積に関する検討	食料品製造業集積支援機能の検討(試験研究機能強化等に関する検討)						未着手			工			
		基礎調査	食料品関連産業、機械・金属関連産業、環境・リサイクル関連産業の集積に関する検討					未着手			工			
35	産業立地環境の整備	産業立地環境の整備(産業用地の確保に関する検討)						未着手			工			
基本施策15：産業基盤の強化														
29	産業集積誘導のための交流連携	庁内検討	産業集積誘導のための交流連携事業の実施(誘致企業等と地場企業の交流など)						未着手			工		
30	工業用公共料金に係る負担軽減の検討	工業用公共料金に係る負担軽減の検討(周辺自治体や道内自治体等の制度を参考に検討)						未着手			工			
31	産業集積に関する検討(重点プロジェクト再掲)	(再掲)												
基本施策16：交通ネットワークの活用														
32	道央圏、道東圏への商圈拡大PR	庁内検討	道央圏、道東圏への商圈拡大やPRの取り組みに対する支援の実施						着手済	別組織	観			
基本施策17：企業立地の促進														
33	企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト再掲)	(再掲)												
34	施設の共同利用化(重点プロジェクト再掲)	(再掲)												
3	とちかち応援団のネットワーク化	(再掲)												
35	産業立地環境の整備(重点プロジェクト再掲)	(再掲)												
36	食料品製造業集積支援機能の検討	食料品製造業集積支援機能の検討(技術者の養成や資格取得を支援する仕組みの検討)								未着手	庁内検討	工		

集客・交流産業の振興 工程表(ロードマップ)

項目	H21	H22	H23	H24	H25	H26~30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等 (現状値 H30目標値) 現状値は原則H19
重点プロジェクト：交流拠点形成プロジェクト										
ふーどツーリズム										
37 食観光・産業観光推進	飲食店みどり提灯推進のためのネットワーク化と地産地消の推進・PR		民間移行				着手済		観	
	産業観光推進会議の設立・モデルルート検討		試行実施	本格的実施	民間移行		着手予定	別組織	観	【観光客入込数】
			とちぎグルメ市の開催(とちぎ食彩祭実施年は実施せず)				未着手		観	236万人 302万人
			街めぐりチケット検討・試行		発行(2年に一度見直し)		着手済	庁内検討	観	
	ふるさと宅配便事業検討		実施				着手済	庁内検討	観	【宿泊客数】
	アンテナショップ拡充検討		拡充(東京・札幌等)				着手予定	庁内検討	観	60.7万人 75.5万人
		帯広版ミシュランガイド内容の検討		発行		未着手		観		
とちち「ビジットシナリオ」										
38 総合観光情報提供	総合観光情報サイトの検討		サイト構築・試験運用・改良		サイト運用(観光推進団体等)		未着手		観	【観光情報提供件数】 (観光情報サイトアクセス数)
39 観光客誘致、ロケ誘致推進	観光プロモーション及び国内線・国際チャーター便の利用促進キャラバンの実施						着手済		観	
	フィルムコミッション支援・ロケ地観光PR事業の実施						着手済		観	11.9万件 19.6万件
恋人の聖地イメチェン										
42 幸福魅力づくり整備	魅力づくり整備促進(ハード・ソフト)						着手済	別組織	観	
	景観と食のスポット立地誘導策検討		景観と食のスポット起業化・立地誘導				着手済	庁内検討	観	【帯広物産協会の物産取扱高】
基本施策18：集客交流産業の振興										5億88百万円 7億42百万円
37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
38 総合観光情報提供(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
39 観光客誘致、ロケ誘致推進(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
40 移住促進・移住体験				フナ留学体験プログラム事業検討	実施(H25・26)		未着手		観	
41 観光「人財」育成	観光プロデューサー人材の養成(単年度1名・2名養成)						着手予定		観	60万1714人
				シティガイド・ポランティアガイド育成事業検討・仕組みづくり	育成・PR事業の実施		未着手		観	62万7700人
基本施策19：拠点づくりの推進										
42 幸福魅力づくり整備(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
43 まちの魅力再発見	まちの魅力再発見事業の実施						未着手		観	
44 コンベンション誘致HQの設置	コンベンション誘致推進体制の強化(情報収集体制の強化、コンベンションディレクターの配置)					コンベンション	着手済		観	
						コンベンションセンター機能の調査検討(H27)	未着手		観	
45 観光インフォメーション機能の充実	観光インフォメーション機能(ビジットジャパン案内所)の充実						着手済		観	
46 環境・景観づくり	花でようこそ環境・景観整備事業						着手済		観	
基本施策20：ネットワーク化の促進										
47 シーニックバイウェイ推進	環境美化運動・幹線道路花植事業・お勤め観光スポットの情報発信						着手済		観	
48 海外旅行者の受入れ歓迎体制の充実	旅行者へのアナウンス、外国語案内標記の充実						着手済	庁内検討	空	
49 チャーター便の拡充と国際化の検討	チャーター便の拡充と情報収集		国際化の検討				着手済	庁内検討	空	
50 空港利用促進	東京線新規就航準備		施設整備				着手済	別組織	空	
	航空路線の充実						着手済	別組織	空	